

ファッションショーで着用したドレスの制作過程を説明する生徒たち＝県立潮来高校



いばらきワイド

潮来高、地域活動を報告

潮来市須賀の県立潮来高校（高野光章校長）で、学校と地域住民らが連携・協働して学校運営に取り組み第3回「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）が開かれた。本年度の締めくくりとなる協議会で、人間科学科や地域ビジネス科の生徒たちによる教育活動報告のほか、1年間の成果や現況報告、課題解決策などを話し合った。

2月3日に開かれた教育活動報告では、1月16日に同校で行われたファッション

地産地消のカフェ開催

ンショー開催までの過程や、同22日に実施した課題研究発表会で提案した潮来市内へのカフェ開設について、生徒が発表。鹿行地域の農水産物を使ったカフェについては、生徒たちは「地産地消や地域全体の活性化につながる」と説明した。

また、教務部や進路指導部、生徒支援部から現況報告が行われ、教務部担当教諭は「専門性の高いハイレベルな授業を展開しており、その成果として本年度の産業教育デジタルアント

レプロジェクトで優勝することができた」とした。

質疑応答では「ファッションショーを校内ではなく校外で実施しては」「カフェは子どもたちが集まる場所がないのでカフェをつくるってほしい」という要望にも受け取れる」などの意見が出された。

高野校長は「今年は創立120周年という記念すべき年で、未来に向けてさまざまな視点であらためて見つめ直す良い機会となった。寄せられたご意見などは次年度以降の学校運営に生かしたい」と話した。

（小室雅一）